

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
出生・発達分科会（第26期・第1回）
議事要旨**

1. 日 時 令和6年3月28日（木）9：30～11：00

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

熊谷晋一郎、高橋尚人、藤井知行（以上、会員）

石崎優子、香美祥二、神尾陽子、島 蘭 進、柘植あづみ、船曳康子、水口 雅、

水野紀子、武藤香織、米村滋人（以上、連携会員）

4. 議事録作成者 武藤 香織

5. 議事概要

（1）自己紹介

第26期の出生・発達分科会の活動開始に先立ち、資料1に基づいて、出席者から自己紹介が行われた。また、資料2に基づいて、高橋会員より出生・発達分科会の設置提案内容の説明があった。

（2）委員長、副委員長選出

高橋会員が委員長に立候補し、選出された。副委員長は、高橋委員長により、古庄知己連携会員を推薦する旨が説明された。本日は欠席のため、事前に古庄連携会員の内諾を得られていることが報告され、選出された。

（3）追加の委員について

高橋委員長より、現時点では委員の追加を想定していないが、活動が活発化したら必要に応じて特任連携会員として招聘したい方針である旨が説明され、了承された。

（4）議事要旨の委員長一任について

高橋委員長より、資料3と資料4にある、学術会議におけるメール審議や議事要旨の取扱いの取り決めについて説明があった。そのうえで、高橋委員長より、今後は迅速な審議が必要であることからメール審議を積極的に行いたい方針であることが説明され、了承された。また、議事要旨の取扱いについては、資料3のガイドライン5(1)②に従い、議事要旨案をメールで回覧した後、承認については議長に一任することとなった。

(5) 分科会委員間のメールアドレス共有について

高橋委員長より、資料4に基づき、今後の議論はできるだけメール審議にする予定である旨の説明があった。また、委員間でメールアドレスを共有することについて審議され、了承された。

関連して、高橋委員長より、資料5と資料6について説明があった。

(6) 今後の分科会の進め方

高橋委員長より、「意思の表出」、「提言」、「見解」の違いについて説明があった後、自由な意見交換が行われた。その結果、今回の分科会ではまず新生児について検討を深めることとし、オンラインで勉強会を開催することとなった。また、探究すべき様々な課題があることから、勉強会を進める中で方向性を絞ることとした。

(7) その他

特になし

5. 配布資料

- 資料1：第26期 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同出生・発達分科会名簿（2024年1月25日現在）
- 資料2：臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同分科会の設置について
- 資料3：参考資料1 委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン」（平成30年3月30日 日本学術会議第261回幹事会決定）
- 資料4：参考資料2 メール審議の実施について（平成25年9月24日 日本学術会議第178回幹事会決定）
- 資料5：第14回日本小児科学会倫理委員会公開フォーラム配布資料（2024年3月2日）
- 資料6：第6回新生児生命倫理研究会案内（2024年3月24日）

以上